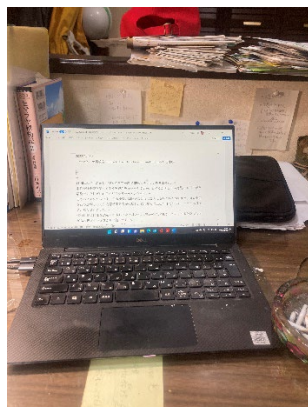


2022/1/28

(オマケの英語教室 return to basic functions or fundamentals) 書庫版



白内障の進行が著しく視界クリア一度が30%くらいしかありません。

本日最終検査を受けて手術実施が決まったのですが、日にちが何と3か月後の4月半ばと最後半にそれぞれ右目と左目を各一回という事に。

初めのアナウンスでは1月末検査。問題がなければ2月ときいていたのですが、コロナ第6波の影響らしく白内障手術患者が爆増し、結果早くて上述の日取りがやっとだと本日突然、知らされました。

進行抑制点眼薬を調剤してもらったとはいえ、進行が完全に止まったとしても最高で視界30%の世界が今後3か月は続くわけで。

そのアナウンスが今朝10時の診察。

ショックで寝込んでしまい、PCの画面に向かう気になったのが只今の夕方5時。

とまあ、ずらずらと私事ばかりを書いたわけですが、ここからが本日のお題です。

自分は売上の整理や販促物の作成、SNSでの記事の執筆などで長い時で一日10時間程もPCの画面とにらめっこをしています。

その10時間が視界30%の状態だと大変な苦痛を強いられることになります。

そこで思ったのが、PCはとどのつまりは付加機能数ではなく、いかに基本機能がまじめに作ってあるかだなあという事でした。

Whisy, whig(what you see, what you get)

見た通りが手に入る。例えば画面上のものが、見たままちゃんとプリントアウトされるとか、No time lag (=time lag less)

キーボードやタッチパッドを叩いたりなぞったりすると同時にその内容が時間差なく画面に反映されるとか、

”Too much kind “ is , vasa versa, too much disturbing. Then too much add-on functions are getting(or have been) saved.

小さな親切大きなお世話。オートコンプリートが効きすぎて意図しない動作が頻繁に起こり、却って作業の邪魔になるので、あまり過度な自動機能を盛り込まないように敢えてマニュアルモード優先に作ってあるとか。

PCはそのいい例ですが、今の文明は快適さ、面白さ、話題性を求めすぎるあまり、「で、そもそもは何をしようとしていたんだっけ？」

という基本の部分がないがしろにされているような気がしました。

(便利は便利なのですが、必要以上に便利すぎて「一体全体誰が主なんだっけ？(この便利さは誰の為なの？私の為？それとも「私の為」にかこつけて自らが差別化高度化といたいのがための売り文句訴求上、必要だからという自己都合の為?)」と聞きたくなるほどどうとうしく感じることもさえます)

それを地球資源という観点からみると、この「過度の快適さ、面白さ、話題性の追求」の部分こそが「過剰、余剰生産分(=資源、労力、時間の無駄遣い。切磋琢磨すべき方向性の誤り)」なのではなかろうかという気がしないでもありません。

そうしてみると今コロナ禍は

「何が必要で、何が冗長なのか？何が過剰で不必要なのか？」

「今行っている努力の方向性は正しいのか否か」

を見分け、新たに問いかけるいいチャンスなのかもしれないなとも思った次第です。